

## ●最近の県内経済

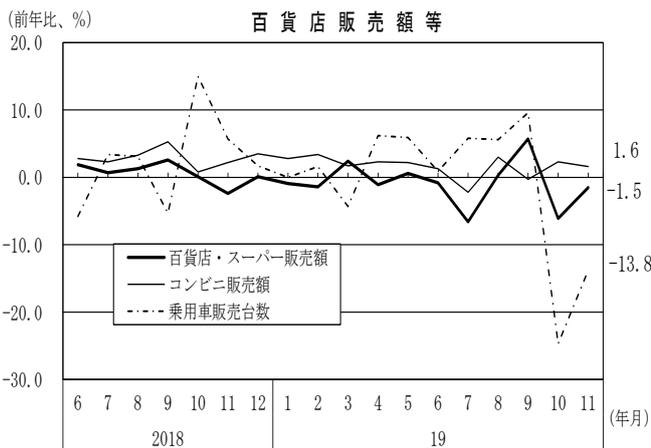
**基調判断**  
(2019年11月を中心として)



**今月の概要**

県内景気は、減速している。

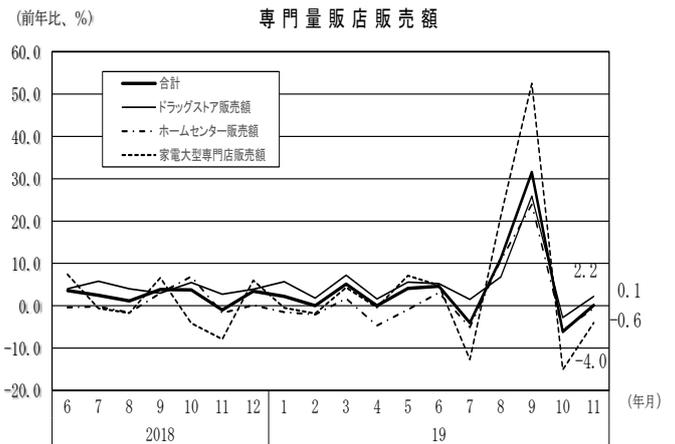
### 1 個人消費 足元減少



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売店協会など

11月の百貨店・スーパー販売額(店舗調整前)は、834億円で前年比1.5%減と2か月連続の減少となった。コンビニ販売は同1.6%増となった一方、百貨店が同6.7%減と2か月連続の減少となったほか、スーパーも前年比横ばいとなった。

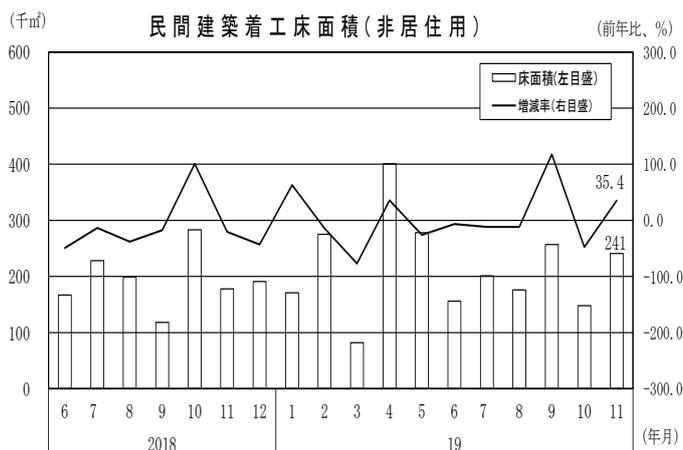
乗用車販売は、同13.8%減と2か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車(同21.7%減)、小型車(同12.8%減)、軽乗用車(同4.8%減)いずれも減少した。



(資料) 経済産業省

11月の専門量販店販売額は、611億円で前年比0.1%増となった。内訳をみると、家電大型専門店が130億円で同4.0%減、ホームセンターが160億円で同0.6%減となった一方、ドラッグストアは320億円で同2.2%増と2か月ぶりに増加した。

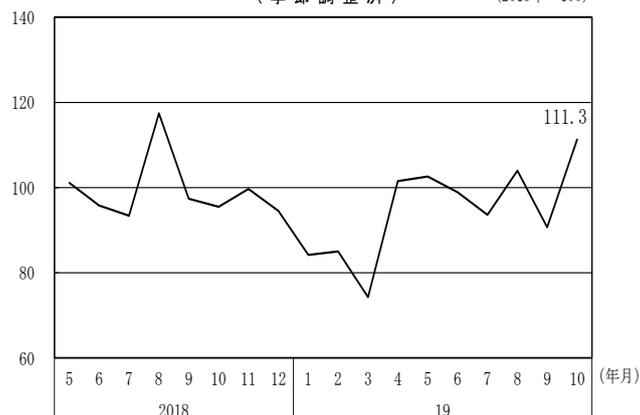
## 2 設備投資 弱含み



(資料)国土交通省

11月の民間建築着工床面積(非居住用)は、241千㎡で前年比35.4%増となった(年度初来累計では同0.7%増加)。用途別にみると、工場及び作業場は減少したものの、事務所、店舗、倉庫が増加した。

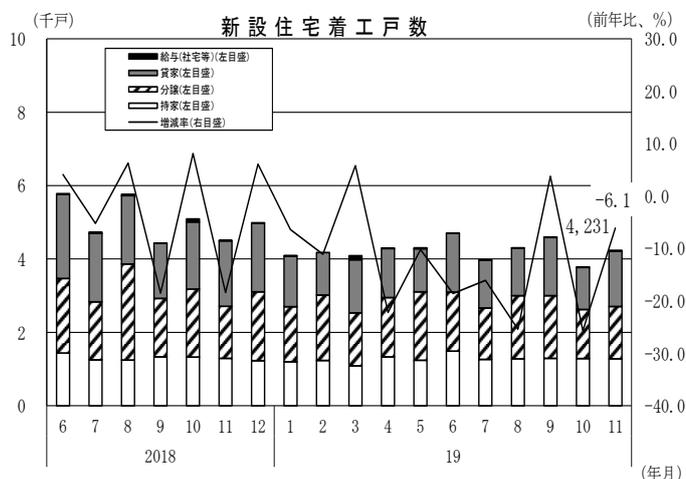
資本財出荷指数  
(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

10月の資本財出荷指数(季節調整済)は、111.3で前月比22.7%の上昇となった(2か月ぶりの上昇)。

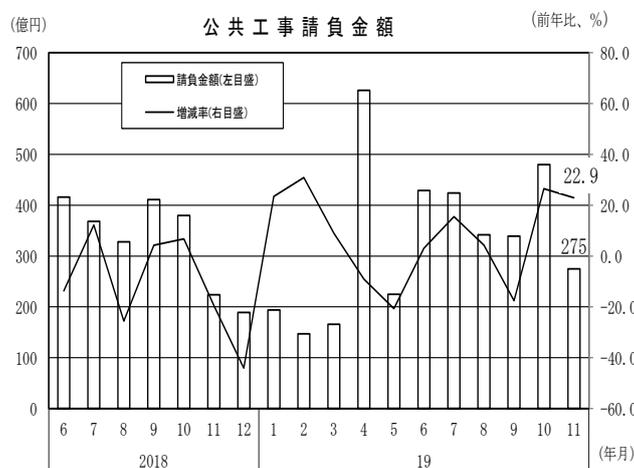
## 3 住宅建設 減少



(資料)国土交通省

11月の新設住宅着工戸数は、4,231戸で前年比6.1%減と2か月連続の減少となった(年度初来累計では同15.8%減少)。利用関係別にみると、分譲マンション(208戸)は同2.5%増となった一方、持家(1,279戸)が0.8%減、貸家(1,513戸)が同15.3%減、分譲戸建て(1,213戸)が同0.2%減となった。

## 4 公共工事 足元増加

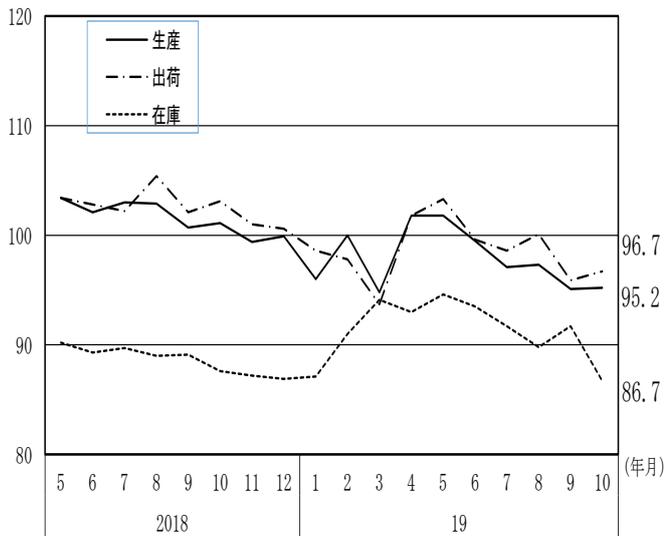


(資料)東日本建設業保証株式会社

11月の公共工事請負額は、275億円で前年比22.9%増となった(年度初来累計では同1.3%増加)。発注者別でみると、独立行政法人等は前年比横ばいとなった一方、国、都道府県、市区町村が増加した。

## 5 生産活動 弱含み

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済) (2015年=100)



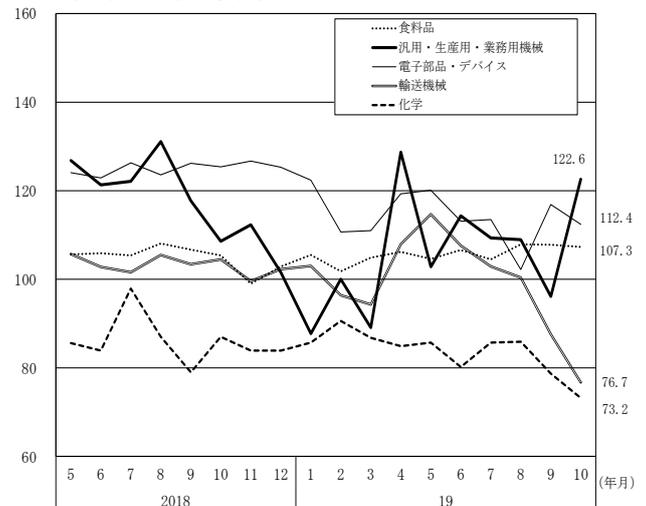
(資料)埼玉県

10月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、95.2で前月比0.1%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(自動車エンジン)、化学(医薬品)が低下したが、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、木材・木製品(特殊合板)、情報通信機械(カーオーディオ)などが上昇した。

出荷指数(同)は、96.7で同0.8%上昇した(2か月ぶりの上昇)。化学(医薬品)、輸送機械(自動車エンジン)が低下したが、生産用機械(半導体製造装置)、汎用機械(空気圧機器)、電子部品・デバイス(混成集積回路)などが上昇した。

在庫指数(同)は、86.7で同5.5%低下した(2か月ぶりの低下)。生産用機械(マシニングセンタ)などが上昇したが、輸送機械(乗用車)、プラスチック製品(プラスチック製容器)、金属製品(アルミエクステリア)などが低下した。

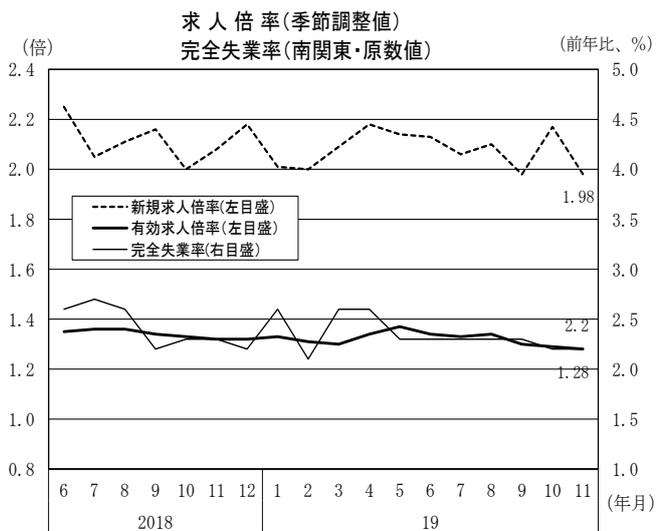
主要業種の生産指数(季節調整済) (2015年=100)



(資料)埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、107.3で前月比0.5%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、122.6で同27.5%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は112.4で同3.8%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、76.7で同12.4%低下し、5か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、73.2で同7.0%低下し、2か月連続の低下となった。

## 6 雇用情勢 改善



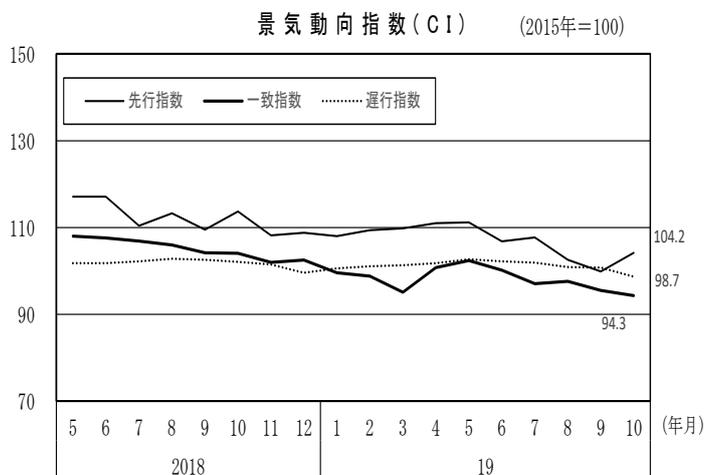
(資料)厚生労働省、総務省

11月の新規求人倍率(季節調整済)は1.98倍で前月比0.19ポイント、有効求人倍率(同)は1.28倍で同0.01ポイント、ともに低下した。

完全失業率(南関東、原数値)は、前月比横ばいの2.2%と低水準で推移している。

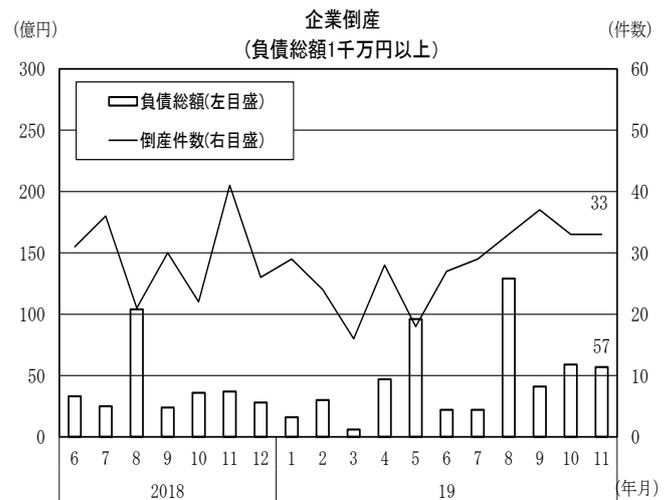
## 〈参考〉

### 景気動向指数(CI) 悪化を示している



(資料)埼玉県

## 7 企業倒産 件数は減少、金額は増加



(資料)帝国データバンク

11月の企業倒産件数は、33件で前年比8件の減少、負債総額は、57億円で同20億円の増加となった。

業種別にみると、建設業が11件で最も多く、次いで卸売業が9件、サービス業が6件となっている。主因別では、販売不振が27件で最も多くなっている。

10月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、94.3で前月比1.2ポイント低下し、2か月連続の低下となった。

CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、104.2で同4.3ポイント上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

CI運行指数(景気に遅れて反応する)は、98.7で同2.1ポイント低下し、5か月連続の低下となった。